

戦争体験の「聞き手」から捉える継承

～沖縄戦体験を聞き・記録する現場～

2025年は戦後80年を迎えます。体験者世代が減少する中で、来たる時代に沖縄戦・沖縄戦後史をどう学び、どう伝えることができるでしょうか？

今年のむさしの市民平和月間では、沖縄戦の「聞き手」たちの取材経験から、沖縄戦の継承のあり方を考えます。

講師 石川 勇人

いしかわゆうと



(大阪大学大学院 人文学研究科 博士後期課程在籍)

1998年生まれ。那覇市出身。沖縄国際大学大学院修士課程修了。大学生の頃から沖縄戦の継承団体へ所属しながら、沖縄戦体験者へ聞き取り調査を行う。現在は、沖縄戦体験者のみならず、沖縄戦体験者の声を聞いてきた「記録者」への聞き取り調査も行っている。

研究テーマは沖縄戦の記憶の形成と継承。

専門は記憶研究、トラウマ研究、ライフヒストリー研究



東京YWCA武蔵野センター
/JR吉祥寺駅北口より徒歩15分

〒180-0004

武蔵野市吉祥寺本町4-9-28

日程

2024年11月15日 (金)

時間

18:30-20:30(18:00開場)
※見逃し配信あり(交流会を除く)

参加費

500円(カンパ歓迎)

会場

東京YWCA 武蔵野センター
オンライン (ZOOM)

定員

会場 20名
オンライン 40名

講演プログラム

【第1部】18:30～
講演会

【第2部】20:00～
交流会 (会場参加の方)

申込方法

(※要事前申し込み)

横のQRコードからの
Peatixの画面、
またはEmail,お電話
にてお申込み下さい。



お問い合わせ・申し込み

東京YWCA 武蔵野センター

電話：0422-27-5871 /03-3293-5456

E-mail:musashino@tokyo.ywca.or.jp

HP：https://www.tokyo.ywca.or.jp/

主催

公益財団法人東京YWCA

平和と人権事業部

むさしの平和チーム

「むさしの市民平和月間」とは？

「むさしの市民平和月間」は、戦争のない平和な社会を実現するため、武蔵野市民が声をかけ合って取り組んでいる一斉行動です。11月3日（日本国憲法公布の日）から11月24日（武蔵野市平和の日）を大まかな期間として、様々なグループ・個人による企画が予定されています。1944年11月24日は、中島飛行機武蔵野製作所（現在の武蔵野中央公園）が、首都圏で初めて本格的な爆撃を受けた日です。このことから、武蔵野市は11月24日を「武蔵野市民平和の日」と定めています。詳しくは「むさしの市民平和月間2023」パンフレットをご覧ください。

YWCAとは？

YWCA（YOUNG WOMEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION）は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。1855年英国で始まり、今では日本を含む120あまりの国と地域で、約2,500万人の女性たちが活動しています。

東京YWCA

公益財団法人東京YWCAは日本国内にある24の地域YWCAの一つで、1905年に設立されました。青少年と女性にフォーカスし、人権・健康・環境が守られる平和な世界を実現することを目的に、世界の仲間とともに活動しています。



東京YWCA むさしの平和チーム

武蔵野センターで活動するYWCA会員が中心となり、チームのメンバーとともに平和を考える上映会、講演などのイベント企画・運営を行っています。近年は、沖縄や原発について考えるプログラムを実施しています。



東京YWCA

平和



@ywca_peace_tokyo

東京YWCAの平和キャンペーン、イベント情報を発信していきますので、フォローをよろしくお願ひします！！



YWCA_PEACE_TOKYO